



グローバルPBL体験談

実施年度	2021年度
プログラム連番	170
実施形態	オンライン
担当教員	環境システム学科 松下 希和先生 建築学科 山代 悟先生 環境システム学科 鈴木 俊治先生
実施期間	2022年2月15日～3月10日
実施協定校	アアルト大学(フィンランド)

参加学生体験談（要旨）

環境システム学科

3年生

今回は建築学部と共同のプログラムということで、自分としても挑戦の意で臨みました。

プログラムを通して、建築設計の力や英語でのコミュニケーション能力など自分に足りない部分を多く感じましたが、それと同時に今後のやるべきことも見えてきました。非常に良い経験になったと感じます。

もし、プログラムの参加に悩んでいる方がいれば、挑戦の気持ちでぜひ参加してみてくださいと思います。

環境システム学科

3年生

建築系でgPBLを開催されていたので、海外の人から見た建築の考え方を知ることが出来るチャンスだと思い参加を決めました。

プログラム期間中は、タイトなスケジュールで大変でしたが、今までにない建築に対する考えを得られたため、これからの勉強に生きてくると感じます。

参加学生体験談（要旨）

建築学科

3年生

私は将来留学を考えていることもあり、今回、参加を決めました。

プログラムの内容としては、英語で普段のような設計の授業をします。建築用語やダイアグラムを説明するときの英語の表現も学べるので留学を考えている人には特におすすりめです。また、留学を考えている人でなくても他コース、他学年も参加するので設計のレベルに刺激を受けいい経験になります。

春休みで設計から離れてしまう時期ですが、この授業で同級生に少し差が付いたかなと思います！

建築学科

4年生

アアルト大学の院生との共同のプロジェクトということで、また違った設計手法を学べたり、エスキスをいただくという貴重な体験をしました。

また、向こうの学生と英語を通じて建築をエスキスしあえたこともこのプログラムを通じて出来たので、とても良かったなと思いました。